

## ブラジル国営石油会社ペトロブラス向け 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO)用圧縮機を納入



納入した圧縮機

株式会社日立製作所(執行役社長兼COO:東原 敏昭/以下、日立)は、三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎 俊郎)のグループ会社であるMODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS PTE. LTD.(以下、MTOPS、本社:シンガポール共和国/以下、シンガポール)から、ブラジル連邦共和国(以下、ブラジル)の国営石油会社であるPetroleo Brasileiro S.A.(以下、ペトロブラス)向けの浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(以下、FPSO<sup>\*1</sup>)用遠心圧縮機6基を2013年1月に受注し、このたび納入しました。ペトロブラス向けFPSO用圧縮機の受注・納入は日立としては初であり、今後も多数のFPSOの発注計画があるペトロブラスのFPSO向け案件での継続受注をめざします。

FPSOは、洋上で石油・ガスを生産し、生産した原油を設備内のタンクに貯蔵して、直接輸送タンカーへの積み出しを行う設備で、近年、各国の石油会社が海底油田・ガス田の開発を積極的に進める中、南米、西アフリカ地域を中心にFPSOの需要拡大が見込まれています。特に、ブラジル近海では大型の油田・ガス田の発見が相次いでおり、巨大な埋蔵量が世界的な注目を集めています。

今回のFPSOは、既存のVLCC<sup>\*2</sup>タンカーを改造するもので、リオデジャネイロ沖合南約300kmに位置するIracema North(イラセマ・ノース)鉱区開発に用いられます。本鉱区は海底下約5,000mのプレソルト層(岩塩層)の下にある巨大油田です。改造後のFPSOは、日量15万バレルの原油生産能力、160万バレルの原油貯蔵能力を持ちます。

納入した圧縮機は、高圧遠心圧縮機(吐出圧力:約25,000kPag)3基と中圧遠心圧縮機(吐出圧力:約6,400kPag)3基で、原油とともに産出される随伴ガスの油分・ガス分の分離設備およびガス処理設備の中核となります。

日立グループは2011年9月にMTOPSからブラジル向けFPSO用に圧縮機4機と逆浸透膜法海水淡水化装置(以下、RO\*<sup>3</sup>装置)2基\*<sup>4</sup>を受注し、2012年9月に納入した実績があります。また、2012年12月に、ブラジルにおける圧縮機、ポンプ、RO装置などの石油・ガスプラント向け産業機器のメンテナンスサービス事業を行う「HITACHI-MYCOM Maintenance & Solutions Ltd.(本社:ブラジル サンパウロ、社長:青木 正)」を発足させ、製品のライフサイクルを通じたサービス体制を確立しました。

今後、中東・アジア・南米地域を中心に、需要拡大が見込まれる石油・ガスプラント向けの圧縮機・ポンプ・水処理装置などを積極的に拡販するとともに、サービス事業の拡大を図り、顧客やパートナー企業との連携による地域密着型のグローバル展開を加速していきます。

\* 1 FPSO: Floating Production, Storage and Offloading system

\* 2 VLCC: Very Large Crude Carrier(大型石油タンカー)

\* 3 RO: Reverse Osmosis

\* 4 RO 装置については、日立の子会社である Hitachi Aqua-Tech Engineering Pte. Ltd. (本社:シンガポール、代表取締役 CEO:Tang Chay Wee)が受注。

#### ■ 受注概要

発注者	MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS PTE. LTD.
最終需要者	Petroleo Brasileiro S.A.
所在地	ブラジル
受注内容・納入年月	中圧遠心圧縮機(3基)の製作、納入【納入年月:2014年2月】 高圧遠心圧縮機(3基)の製作、納入【納入年月:2014年3月】

#### ■ 照会先

株式会社日立製作所 インフラシステム総合営業本部 国際営業本部 [担当:田辺、横手]

〒170-8466 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号

電話:03-5928-8237(直通)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---